

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 兵庫県産材スギ活用の家“SUMIKA”

グループの名称 はりまe家ネット

直近採択グループ番号 04-0321-0560

(グループ代表者)

代表者名 石原 弘一 代表者印
代表者所属先 コーラルハウジング株式会社
代表者所在地 兵庫県姫路市広畑区早瀬町二丁目26-2
代表者電話番号 079-230-1311

(グループ事務局)

事務局事業者名 コーラルハウジング株式会社
事務局担当者名 宮田 攝子 印
事務局郵便番号 671-1151
事務局所在地 兵庫県姫路市広畑区早瀬町二丁目26-2
事務局電話番号 079-230-1311
事務局FAX 079-230-1312
事務局担当者E-mail miyata@coralhousing.com

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		15	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	15	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	5	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		10	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	10	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0	棟						
			0	m ²						
		申請が未確定	0	棟						
			0	m ²						
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者に おける補助対象戸数の配分ルール(必須)	本事業への参加を希望する工務店全社に最低1戸を配分し、その上でこれまで長期優良住宅への取組みが少ない工務店や受注が確実視されている工務店に優先的に配分する。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	15	戸	交付申請戸数	15	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	15	戸
	補正予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 兵庫県産材スギ活用の家“SUMIKA”	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) はりまe家ネット	(結成年) 2012年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0321-0560	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	基本性能:耐震等級3、省エネルギー等級4をクリア、全外部開口にLow-E遮熱・断熱ペアガラスを使用する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式		
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	省エネに関して、下記の選択項目から1項目以上を採用する。 1. 太陽光発電の設置(3.0kW以上) 2. 雨水タンクの設置(150リットル以上) 3. 太陽熱温水器の設置(200リットル以上) 4. 全室LED照明の採用 5. 通風・創風最適設計サポートの利用	◎
④①～③の背景	兵庫県南西部に位置する播磨地方は、瀬戸内海地方特有の穏やかな気候風土で、冬は温暖で過ごしやすいが、昨今は地球温暖化の影響に伴い夏は高温多湿となる。また兵庫県西部から岡山県にかけ、活動度の高いA級活断層(山崎断層)が延びている。播磨地方では868年のM7.1前後の地震以降、1100年以上も大地震がなく、近い将来M6～7の地震の可能性がある。また、南海トラフ巨大地震発生の懸念も日々増加している。こうした地域特性を踏まえ、下記の取組みを行う。 ○地震に強い安全・安心の家 ○環境に配慮し、地球温暖化防止に貢献できる家 ○高気密・高断熱・省エネの快適な家 ○建設から維持管理まで信頼される家 ○兵庫県産材を使用した地産地消の環境にやさしい家	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 兵庫県産材については、規格サイズリストを明示し、安定的な材の供給と価格を実現するよう努める。	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 管柱には、必ず兵庫県産材を使用する。 羽柄材には、兵庫県産スギKD(人工乾燥)材を1棟当たり2㎡以上使用する。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 耐震等級3、省エネルギー等級4をクリア、全外部開口にLow-E遮熱・断熱ペアガラスを使用する。	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 仕入れコスト低減のため、一部建材について、共同購入特価での仕入れを行っている。 ※ 設備、内装・外装材等の仕様については、各施工事業者がそれぞれ特徴をもち、差別化を行っているため、下地材や建材の仕入れ等に目を向けている。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地盤調査に基づいた適切な地盤改良、基礎形成を選択し、地盤保証を付ける。 地盤保証書の写しを実績報告時にグループ事務局に提出する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: チェックシートに基づく徹底した現場監理を行う。 構造チェックシートの写しを実績報告時にグループ事務局に提出する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一式見積もりをせずに数量を拾い出し、詳細見積書を消費者に提示する。 詳細見積書の一部の写しを実績報告時にグループ事務局に提出する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的な取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: はりまe家ネットの取組みをホームページや紙媒体を通じて積極的に発信し、機会あるごとにグループ共同で消費者向けのイベント等にも参加して、メンバー工務店各社に見込み客を勧誘してもらい、SUMIKAのパンフレットを配布する等のPR活動を行うことで、グループの取組みに対する認知度と信頼性のさらなる向上を図る。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 兵庫県産材スギ活用の家“SUMIKA”	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) はりまe家ネット	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0321-0560	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
① 住宅履歴情報の蓄積		
①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 竣工図、設備図、確認申請書等12の登録必須データ項目を定めて、各工務店に周知する。	◎
①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報(いえるて)のサービス機関に登録し、住宅履歴情報の蓄積を義務化、定期点検記録を残す。	◎
①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報(いえるて)サービス機関が発行する住宅履歴情報の預かり証の写しを実績報告時にグループ事務局に提出する。	◎
② メンテナンス基準の整備		
②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の維持管理計画書として「住まいの管理手帳」を活用する。	◎
②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の維持管理計画書として「住まいの管理手帳」を活用する。	◎
②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅建築等計画(変更)認定申請に添付する維持保全計画書の写しを実績報告時にグループ事務局に提出する。	◎
③ 住まいの管理		
③-1 住まい管理勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2 DIY体験会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-3 その他の相談会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ 維持管理委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 顧客に対して適切に説明できるよう、説明書の雛形を作成し、各施工業者に配布する。施工業者の破産・倒産の場合は、顧客への説明と同意のもと、グループ内の他の施工業者にメンテナンス等を移行する。	○
② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険会社から講師を招き、過去の瑕疵事例の勉強会を実施する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験工務店が入会した際は、事務局が中心となり、長期優良住宅の設計サポートを行う。	○
②-1 品質管理のための共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-1 需給計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①-1 省エネ技術講習会への施工業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 3	○
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 2 今年度の参加目標人数 2	○
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅省エネルギー技術講習会の開催日程を随時配信し、施工技術者講習会と設計者講習会の双方を受講するよう、グループ内の施工業者の参加を促進する。今年度は、グループ内の設計事務所に対しても講習会への参加を積極的に働きかける。	◎
c		
① 新たな技術等の導入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
森林見学会や産地見学会を開催し、メンバー工務店の木材や建築資材に対する理解をさらに深める。		◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 兵庫県産材スギ活用の家“SUMIKA”	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) はりまe家ネット	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0321-0560	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		
a	地域材利用に関する	◎、○ 記入欄
①	共通 ルール(必須)	◎
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	◎
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	◎
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明	
<p>地域材供給の流れ</p> <p>兵庫県産材証明制度(兵庫県産材業協同組合連合会) 合法木材証明制度</p>		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	◎
	② グループ全体における地 域材の需給予測	◎
c	①-1 量の活用	◎
	①-2 和瓦の活用	◎
	①-3 襖の活用	◎
	①-4 障子の活用	◎
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	◎
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	◎
d	① 地域の伝統的なデザイ ンを継承する取組	◎
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	◎
	③ 地域の街並み形成へ寄与 する取組	◎
	④ 和の住まいの要素を取入 れた取組	◎
その他 ※上記項目以外でグループ自 己のルール・目標があれば記入 してください。		
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		
	東日本大震災の復興に資する取組	○
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 兵庫県産材スギ活用の家“SUMIKA”	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 兵庫県
2. グループの名称・結成年月(必須)	<small>(グループの名称)</small> はりまe家ネット	<small>(結成年)</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0321-0560	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。